

2019 年度 羽ばたけ! TUT 海外研修応援キャンペーン報告書

4 系 (B ・ M) 1 年 氏名 的崎花百美

参加プログラム	西安研修 ペナン研修 CUNY 研修 フリープラン A ・ B
研修期間	2019 年 9 月 10 日 ~ 2019 年 9 月 26 日
渡航国・都市	モンゴル・ウランバートル
研修先機関名またはプログラム名	新モンゴル工科大学 (New Mongol Institute of Technology)
<u>研修の概要</u> (研修テーマや課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いてください。)	研修テーマ：Saposhnikovia divaricata に含まれる成分の抗がん作用の評価 Saposhnikovia divaricate(ボウフウ)の根に含まれる成分を、メタノールを用いて抽出し、乾燥させた後 MTT アッセイで抗がん作用の評価を行った。研究はモンゴル工科大学及びモンゴル国立大学で行った。抗がん作用の評価には、AGS 細胞(ヒト胃がん細胞株)、HepG2(ヒト肝がん由来細胞株)、A549(肺胞基底上皮腺がん細胞)を用いた。結果として、Saposhnikovia divaricata に含まれる生理活性物質はHepG2に対して高い抗がん作用を示すことが分かった。AGS に対しては 100 µg/mL と高い濃度では抗がん作用を示すが、50、25、10 µg/mL では効果は見られなかった。A549 に対しては若干の抗がん作用を示した。この研修を通して、天然物に含まれる物質の生理活性の評価方法を学んだ。 また、モンゴルで行われている研究、調査について学ぶため NUM(National University of Mongolia)、MULS(Mongolian University of Life Science)、EBI(Experimental biology institute)を見学した。カシミヤ製品を製造している GOBI の工場見学も行った。
<u>活動写真 (1 枚)</u>	